教科目名　校外実習　(Field practice of Civil Engineering)

学科名・学年　：　土木工学科　4年

単位数など　：　選択　1単位　（学習保証時間0時間）

担当教員　：　学科主任，学級担任（窓口），その他都市システム工学科全教員

授業の概要

校外実習は校内において学習できない現場の業務を体験することにより教室で修得した知識と現場の業務との結びつきを知って，事後の学習を一層充実させるとともに，将来の自分の進路を決定する際のてがかりの一助とするものである．このためには校内の実習において実施されている班単位の行動よりも，学生一人一人が独立した行動をとることがより適切であると考えられるので，学生はそのつもりで判断，決定すること．

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(D2)，JABEE目標(d2d)(h)**

(1) 社会性を身につけ,コミュニケーションができる．（実習証明書）（実習報告会）
(2) 現場を体験することにより，これからの授業に対する意義を一層深め，さらに将来の進路選択の一助となり得るように実習に取り組むことができる．（実習報告書）（実習報告会）
(3) 体験内容をまとめ，プレゼンテテーションができる．（実習報告書）（実習報告会）

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
	1. ガイダンス	○5月にクラス担任よりガイダンスがある．	【理解の度合い】
	2. 実習先の決定	○クラス担任を通じて申し込みを行う． ○出頭日と実習中の注意事項を確認する．	
	3. 実習	○実習期間は5日間以上とする．	
	4. 実習証明書の提出	○実習後，実習証明書を教務係に提出する．	【評価】　点
	5. 実習報告書の提出	○各自実習報告書（教務係提出用1ページ，学科提出用2ページ）をまとめ，教務係およびクラス担任に提出する．	【評価】　点
	6. 実習報告会	○実習報告会において成果を発表する．	【評価】　点

履修上の注意	校外実習受け入れ企業等の紹介をするので希望する学生は申し込む．また，学生自身が実習先を探す場合は，高専の実習先としてふさわしいかどうかを学科で検討するので，事前にクラス担任に申し出ること．実習は原則として夏期休業中に実施し，実習時間は40時間以上とする．	【総合達成度】
教科書		
参考図書	実習先の業務に関する図書.	
関連科目	ＰＢＬ，プロジェクト実験（専攻科），実務実習（専攻科）	
総合評価	達成目標の(1)～(3)について，次の①～③で評価する． 実習終了後，実習先から①実習証明書を出してもらう．帰校後，②実習報告書(教務係提出用1ページ，学科提出用2ページ)を作成する．本学科の教員と3年生が集まった場所で，③実習報告会を行う． ①(20%),②(30%),③(50%)の内容により，総合評価する． 総合評価が60点以上を合格とする．	【総合評価】　点